

# 2019年度 第3四半期決算

株式会社フジクラ

2020年2月5日

# 目次

1. 2019年度第3四半期決算概要  
及び年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

# 1. 2019年度第3四半期決算概要及び年度予想

# 2019年度第3四半期決算概要及び年度予想

(単位:億円)

	2018年度		2019年度		2019年度 (公表値10.31)
	1-3Q	年度	1-3Q	年度 予想	年度
売上高	5,534	7,107	5,181	6,700	6,800
営業利益	241	276	86	80	155
営業利益率 (%)	4.4	3.9	1.7	1.2	2.3
持分法投資損益	10	12	11	14	17
経常利益	182	210	73	70	130
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	14	▲11	▲75	10
1株当たり当期純利益(円)	14.55	5.09	▲3.95	▲26.60	3.54
1株当たり配当(円)	—	12.00	—	7.50	10.00
自己資本利益率(ROE)(%)	2.5	0.7	▲0.7	▲3.6	0.5
為替換算レート(USD/JPY)	111.15	110.93	108.66	—	—
銅ベース(千円/トン)	753	747	689	—	—

## 【前年同期比】

- エネルギー・情報通信カンパニーの情報通信事業部門において中国を中心に光関連製品の競争が激化した影響を受けたこと及び電子電装・コネクタカンパニーにおいてスマートフォン向けFPCの需要停滞とこれに伴う価格競争激化や品種構成の変化等により営業利益、経常利益ともに減益。
- 親会社株主に帰属する当期純損益は、経常利益の減少と事業構造改善費用の計上により当期純損失となった。

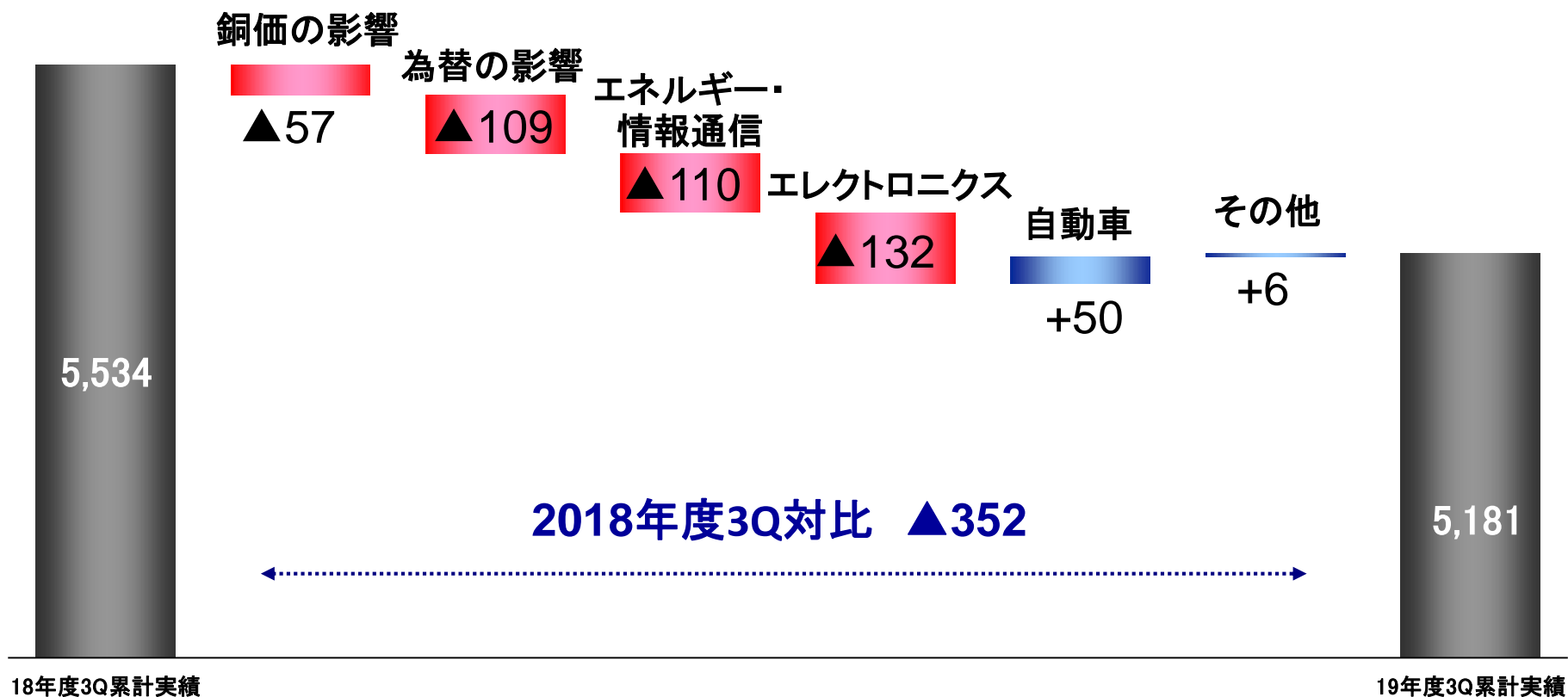
## 【年度予想（前回公表の業績予想対比）】

- 光関連製品は中国の需給バランスの変化に起因する世界的な競争激化により前回予想より収益が悪化する見込み。
- FPCはスマートフォン向けで品種構成の変化や競争激化の影響を受けたこと等により収益が悪化する見込み。
- 親会社株主に帰属する当期純損益は、経常利益の減少と事業構造改善費用の計上により前回予想を下回り、当期純損失となる見込み。

# 2019年度第3四半期 売上高の増減要因(前年同期比)

## 売上高

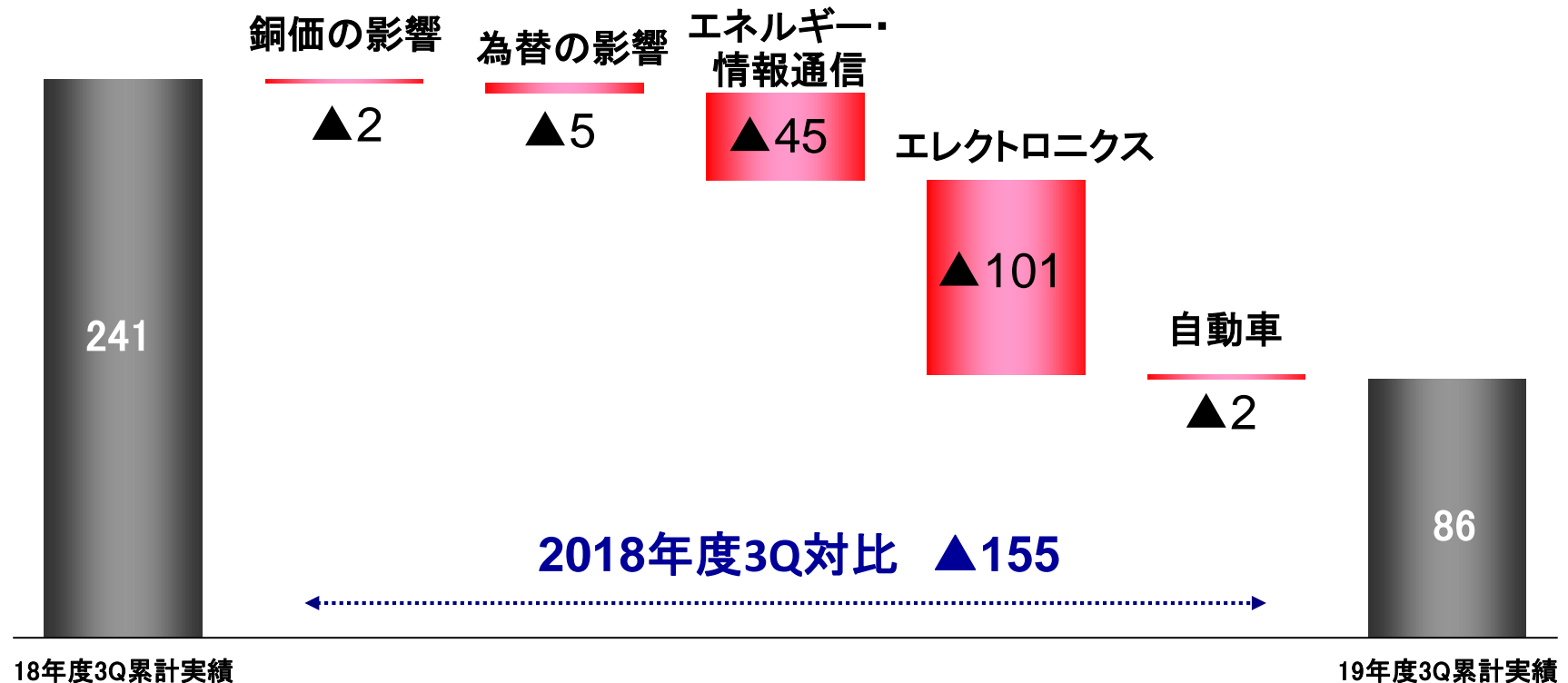
(単位:億円)



# 2019年度第3四半期 営業利益の増減要因(前年同期比)

## 営業利益

(単位:億円)





# 2019年度第3四半期 特別損益及び税金項目

## 特別損益

(単位: 億円)

	2018年度		2019年度
	1-3Q	年度	1-3Q
営業利益	241	276	86
持分法投資損益	10	12	11
経常利益	182	210	73
特別利益	57	57	93
特別損失	131	162	113
税引前当期純利益	108	105	53
税金費用	52	75	51
非支配株主に帰属する 当期純利益	14	14	13
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	14	▲11

### 特別損益計 △19億円

- ・投資有価証券評価益及び売却益 +65億円
- ・ブラジル関連損失 △38億円
  - ┌ 債務保証損失引当金戻入額 (+28億円)
  - └ 関係会社出資金評価損等 (△67億円)
- ・事業構造改善費用 △34億円
- ・タイにおける労働者保護法改正に伴う過去勤務費用 △8億円等

# B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	19年3月末	19年12月末	増減
〈資産〉	6,383	6,431	+48
流動資産	3,232	3,215	▲16
現金及び預金	367	373	+5
受取手形及び売掛金	1,415	1,443	+27
たな卸資産	1,178	1,145	▲33
固定資産	3,150	3,215	+64
有形固定資産	2,315	2,299	▲15
リース資産	2	68	+65
無形固定資産	117	158	+41
小計	2,435	2,527	+91
投資その他の資産	715	688	▲26

IFRS16(リース)適用による影響  
リース資産 +65億円

## B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	19年3月末	19年12月末	増減
負債純資産合計	6,383	6,431	+48
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲95)	(▲32)
〈負債〉	3,974	4,171	+197
支払手形及び買掛金	649	691	+41
有利子負債(借入金・社債)	2,535	2,727	+192
リース債務(流動・固定)	2	60	+57
その他負債	786	692	▲93
〈純資産〉	2,409	2,260	▲149
株主資本	2,075	1,986	▲89
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲95)	(▲32)
その他の包括利益累計額	90	68	▲22
非支配株主持分	242	205	▲37

関係会社投資等による  
増加

IFRS16(リース)適用による影響  
リース債務(流動・固定) +55億円

## 2. セグメント情報

# セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

## 売上高

セグメント	18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	増減	19年度 予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	2,703	2,493	▲209	3,239
エレクトロニクス サブカンパニー	1,540	1,385	▲154	1,721
自動車 サブカンパニー	1,167	1,173	+6	1,569
電子電装・コネクタ カンパニー	2,707	2,559	▲148	3,291
不動産 カンパニー	81	84	+3	112
その他	41	43	+2	56
合計	5,534	5,181	▲352	6,700

## 営業利益及び営業利益率

18年度 1-3Q	19年度 1-3Q	増減	19年度 予想
119 4.4%	66 2.7%	▲52 ▲1.7%	70 2.2%
108 7.1%	5 0.4%	▲103 ▲6.7%	▲13 ▲0.8%
▲23 ▲2.1%	▲24 ▲2.1%	▲0 ▲0.1%	▲25 ▲1.6%
84 3.1%	▲19 ▲0.8%	▲104 ▲3.9%	▲38 ▲1.2%
37 46.1%	40 48.2%	+3 +2.0%	53 47.4%
▲0	▲2	▲1	▲4
241 4.4%	86 1.7%	▲155 ▲2.7%	80 1.2%

※2019年度より自動車電装カンパニーは、従来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。

# エネルギー・情報通信カンパニー

- 前年同期比で19年度1-3Qは、エネルギー事業部門で18年度の Bangladesh 送電線工事のコスト増の反動による増益はあったものの、情報通信事業部門で中国の光関連製品の競争激化等の影響があったことにより減収減益。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



**エネルギー**

- 19年度1-3Qは、銅価下落の影響や、中国の送電線製造会社売却の影響で減収。

**情報通信**

- 19年度1-3Qは、中国の光関連製品の競争激化などにより減収。

コメント 前年同期比

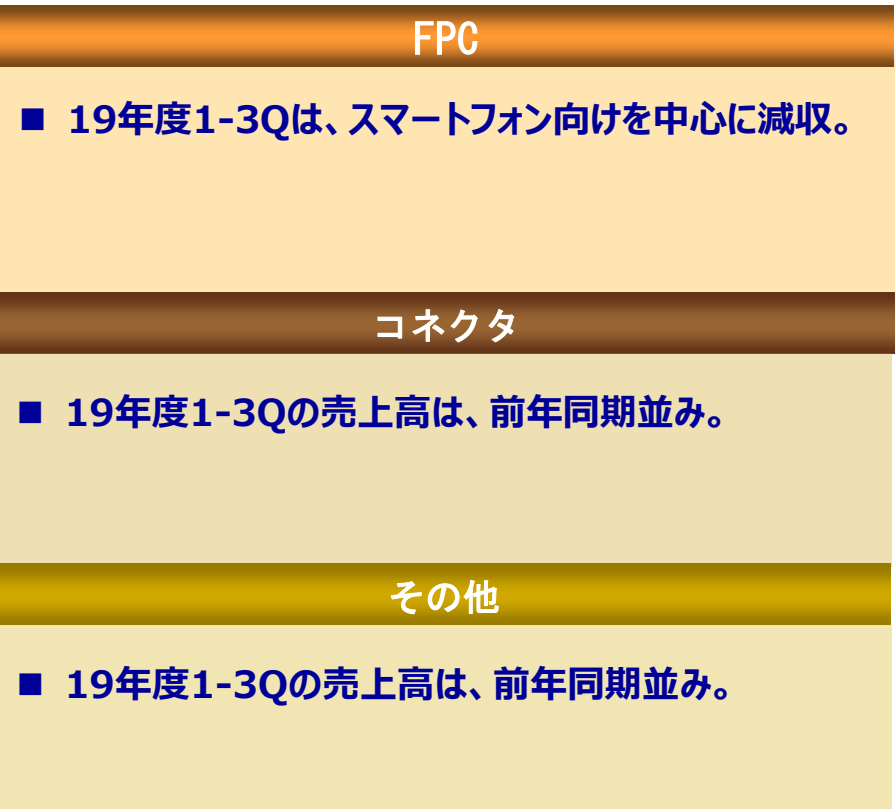
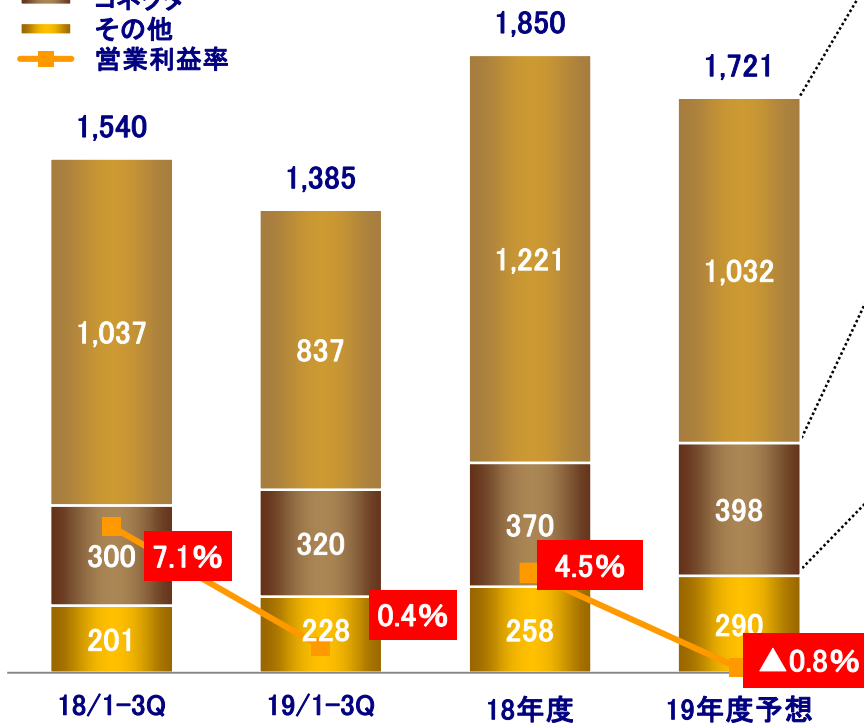
# エレクトロニクスサブカンパニー

- 前年同期比で19年度1-3Qの売上高は、FPCを中心にスマートフォン向けが減収となった。営業利益は、需要の変動や品種構成の変化、減収に伴う固定費負担増により減益となった。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



コメント 前年同期比

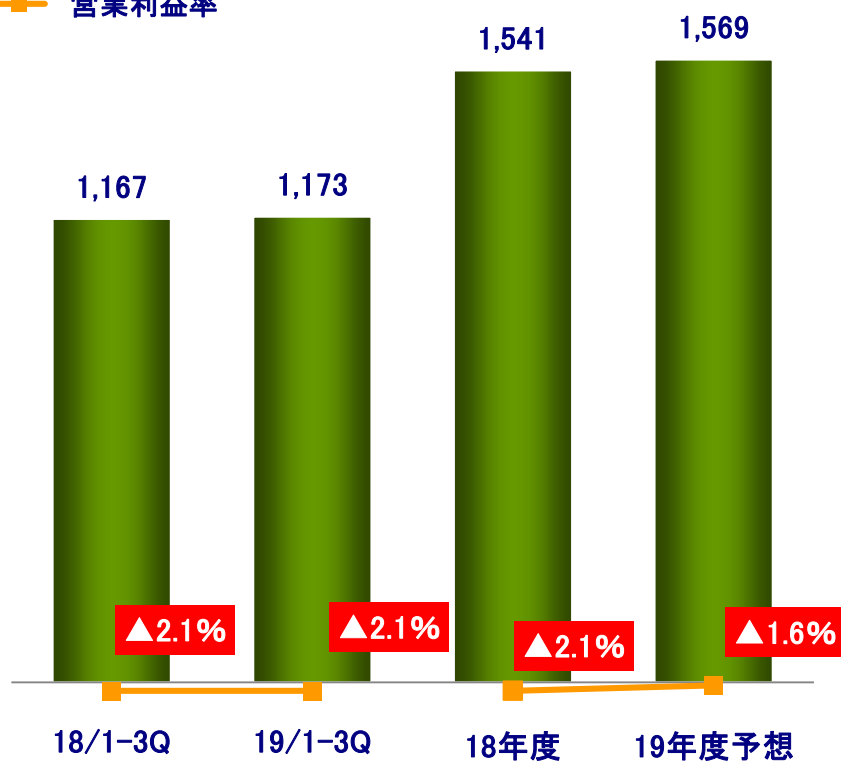
# 自動車サブカンパニー

- 19年度1-3Qの売上高は、ほぼ前年同期並み。生産性改善に引き続き取り組んでいく。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

営業利益率



## 自動車関連

- 19年度1-3Qの売上高は、ほぼ前年同期並み。欧州の生産性改善が遅れている。

コメント 前年同期比



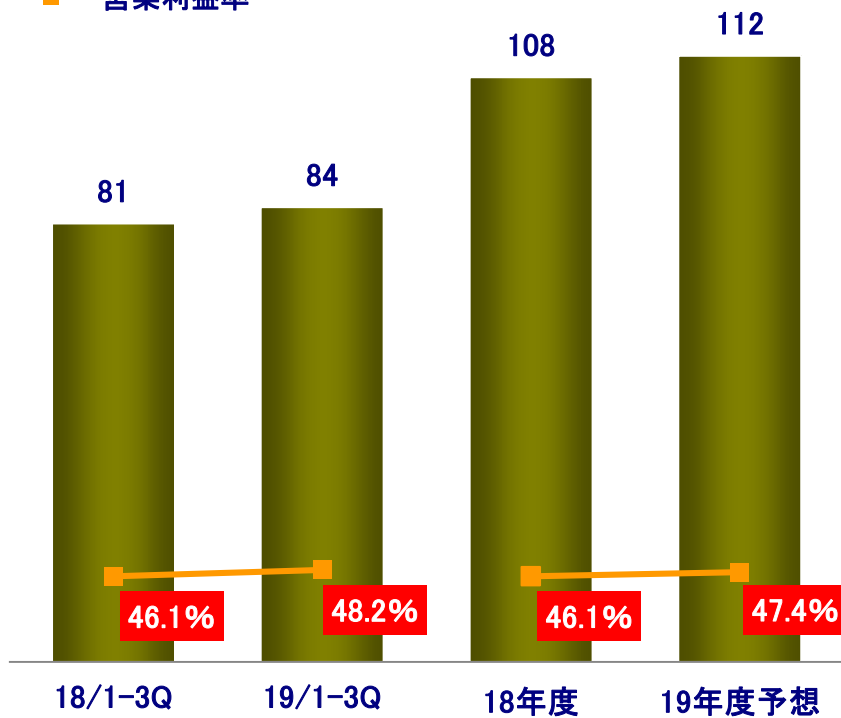
# 不動産カンパニー

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

— 営業利益率



## 不動産

■ 引き続き安定的な賃料収入を見込む。

# 設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2018年度		2019年度	2019年度 予想 (5.14)
	1-3Q	年度	1-3Q	
<b>設備投資</b>	<b>421</b>	<b>557</b>	<b>241</b>	<b>370</b>
(内製造事業)	412	543	231	355
(内不動産事業)	9	13	9	15
<b>減価償却費</b>	<b>233</b>	<b>315</b>	<b>275</b>	<b>370</b>
(内製造事業)	217	294	260	350
(内不動産事業)	15	20	15	20

### 3. 株主還元

# 利益還元

■ 20中期基本方針 配当性向 20%以上

■ 2019年度予想

◆ 配当7.5円/株(中間5.0円/株、期末2.5円/株、21億円)

18年度実績 12.0円/株(中間7.0円/株、期末5.0円/株)

(18年度対比4.5円減配)

◆ 2016～2019年度予想 累計 当期純利益 252億円

配当性向 49.3%

◆ 自己株式の取得 2019年度下期 10百万株/46億円

2016～2019年度予想 累計 総還元性向 99.0%



注記: 本資料は19年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。19年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位:億円

	2018年度							2019年度							2019年度 公表値 (10.31)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	上期実績	下期予想	年度予想	
エネルギー事業部門	501	509	524	503	1,011	1,028	2,039	481	470	481	431	951	913	1,864	1,869
情報通信事業部門	394	384	388	341	779	729	1,508	359	363	337	314	723	652	1,375	1,539
エネルギー・情報通信カンパニー	896	894	912	845	1,790	1,758	3,548	840	833	819	746	1,674	1,565	3,239	3,408
FPC	255	398	383	184	654	567	1,221	189	346	300	194	536	495	1,032	977
コネクタ	83	110	106	69	194	175	370	74	127	117	78	202	196	398	380
その他	67	72	61	56	139	118	258	61	84	82	62	145	145	290	293
エレクトロニクスサブカンパニー	406	581	551	310	988	862	1,850	325	558	501	335	884	836	1,721	1,651
自動車サブカンパニー	433	344	390	373	777	763	1,541	414	376	383	396	790	779	1,569	1,570
電子電装・コネクタカンパニー	839	926	941	684	1,765	1,626	3,392	740	934	884	732	1,674	1,616	3,291	3,222
不動産カンパニー	27	26	27	27	54	54	108	28	28	28	27	56	55	112	112
その他	12	12	16	16	25	32	58	14	14	14	13	28	27	56	57
合計	1,776	1,859	1,898	1,573	3,636	3,471	7,107	1,623	1,811	1,746	1,519	3,434	3,265	6,700	6,800

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信カンパニー	54	16	47	58	71	105	177	19	25	22	3	44	25	70	114
エレクトロニクスサブカンパニー	9	57	41	△ 25	67	15	83	△ 28	26	8	△ 18	△ 2	△ 10	△ 13	6
自動車サブカンパニー	△ 2	△ 19	△ 1	△ 8	△ 21	△ 10	△ 32	△ 1	△ 8	△ 14	△ 0	△ 10	△ 15	△ 25	△ 14
電子電装・コネクタカンパニー	6	38	39	△ 33	45	5	51	△ 30	17	△ 6	△ 19	△ 12	△ 25	△ 38	△ 7
不動産カンパニー	13	12	12	12	25	25	50	14	12	13	12	27	25	53	52
その他	0	△ 0	△ 0	△ 1	0	△ 2	△ 2	△ 0	△ 1	△ 0	△ 2	△ 1	△ 3	△ 4	△ 3
合計	75	67	98	35	142	134	276	2	54	28	△ 5	57	22	80	155

※2019年度より自動車電装カンパニーは、従来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。□  
それに伴い、2018年度の数字を組替再表示しております。

株式会社フジクラ